

多様な製品を開発し 成長を続ける化学メーカー

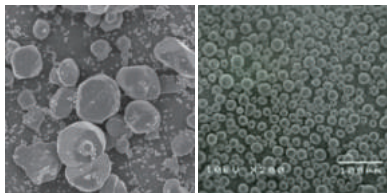
当社が提供する素材・部材は、自動車、スマートフォンから
水道水まで日々の生活・街なかで使われています

幅広い分野の技術を活かしグローバルに展開

当社は国内ではじめてアルミニウムの商業生産を開始し、また国産法による硫酸肥料生産に最初に成功するなど、創業以来、社会に有益な素材を提供してまいりました。これらの技術を発展させ、現在は石油化学、化学品、無機、アルミ、エレクトロニクスといった幅広い分野で事業を展開しています。

「すべてのステークホルダーを満足させる」ことをミッションに掲げ、技術にこだわり個性的な製品群を提供しています。

当社は国内 20、世界 41 の生産・販売拠点を持っています。横浜事業所ではセラミックス製品の開発・製造をするほか、リチウムイオン電池材料の研究開発などを行っています。すべての事業で世界最高品質を目指しており、当社の技術は世界中のお客様に高くご評価いただいています。



横浜事業所で開発・製造する放熱フィラー
様々な粒径で効率よく熱を伝える

事業の「融合」、社内外の「融合」で付加価値を創出

今後は、当社が大樹の枝葉のように展開してきた幅広い事業・技術を「融合」させ、新たな価値の創造に力を入れていきます。

2019年1月に立ち上げた自動車複合材料プロジェクトでは、当社の強みであるアルミを中核として、幅広い素材と技術、それらを支える人材を社内の事業領域を超えて融合し、新時代に求められる材料開発を行っています。

さらに、2022年春には横浜事業所のある神奈川県神奈川区恵比須町に「融合の舞台」をコンセプトとした研究開発拠点を開設予定です。

京浜臨海部の持つ高い交通利便性を活かして、国内外の多様な人材・技術の交流を促し、オープンイノベーションやベンチャービジネスを含む新たな技術やアイデアを社内外から取り入れることで、融合・共創を加速させ、当社と地域の未来を担うグローバル中核開発拠点としていきます。



研究開発複合施設「融合の舞台」イメージ図



最高技術責任者(CTO) 田中 淳 氏

当社の事業内容は多岐にわたりますが、確かな技術力を基に競争力のある製品を数多く揃えています。自動車、スマートフォン、化粧品原料、水道水など身近なシーンにおいてもさまざまな製品の素材・部材として使われています。

最終製品として表には出ることはほとんどありませんが、サポーターイングインダストリーとして社会を支え、生活を豊かにする重要な産業であると自負しています。今後も技術力を磨き、付加価値の高い製品を提供してまいります。

昭和電工株式会社 横浜事業所

〒221-8517 横浜市神奈川区恵比須町 8

TEL 045-453-5111

<http://www.sdk.co.jp/>

